

農業研究屋

人的投資を最適化する農業HR

～「人材管理」を「人的投資」へ～



はじめに

こんな課題、ありませんか？

-  スマート機器からのデータはあるけど、**ただ持っているだけ**で経営の意思決定に活用出来ていない。
-  スタッフも増えてきて**明快な評価制度や給与体系**にしたいけど、そこまで手が回っていない。
-  紙に手書きの資料が多くて**データ管理**にしたいけど、複雑でいざ取り組むのが大変。
-  売上や面積が大きくなってきて**経営意思決定を洗練**させたいけど、改めて見直す時間がない。

こんな課題、ありませんか？



スマート機器が導入されたけど、ただ持っているだけで経営の意思決定に活用出来ていない。



スタッフも増えたけど、業務の効率化が回っていない。



紙に手書きの資料が多くてデータ管理にしたいけど、変換が難しい。



売上や面積が大きくなってきて経営意思決定を洗練させたいけど、改めて見直す時間がない。

課題山積なのは分かっている。
分かっている、けど....

人も時間も足りない。だから、外部人材との協業。



自分でも出来る。どうすればいいかもわかる。
でも、日常業務に追われてそんな時間がない...

社内に組織体制の構築と管理ができる人材がない..



今まで家族経営の延長で大きくなってきたから、問題
が大きくなるまで対処するタイミングがなかった..

外部経営パートナーとして 一緒に強い組織づくりに取り組みます



既存データの一元化、経営意思決定に使える予測アルゴリズム構築



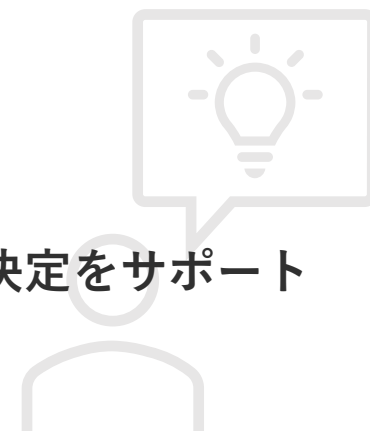
経営戦略に紐付いた人事評価制度の構築、会社成長への人的投資の制度設計運用



データ入力のデジタル化、アナログ管理からデータ管理に移行して省力化



経営者と伴走する壁打ち相手、かゆいところに手が届く包括的支援で経営の意思決定をサポート



バイオテクノロジーのアプローチ

Bio

動植物、土壌、
環境など

食と地域を支える農業の持続性を「人と組織」のアプローチで実現する

Machinery

耕作機械、
農業用資材など

Human

農業従事者、
農業経営体など

スマート農業のアプローチ

農業研究屋のアプローチ

サービス内容

1



既存のデータから経営への
データ活用体制を構築

無駄な管理コストを減らし
事業活動に注力できる体制へ

2



チームを勝たせる
人事評価制度の導入

組織への貢献度を評価し
フィードバックを返す仕組みを導入

3



人的投資の検証評価

自社の人材育成を検証し
課題と対策を可視化

1



既存のデータから経営への
データ活用体制を構築

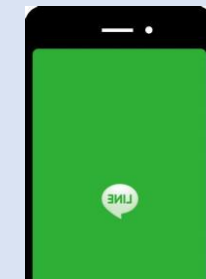
無駄な管理コストを減らし
事業活動に注力できる体制へ

例

データ一元化



プロファイnderや作業進捗のガントチャートなど
データがバラバラに存在していて経営の意思決定に使うことは出来ない



- ① データベースの一元化
- ② データから異常値を検出してラインに通知する仕組みの構築

3

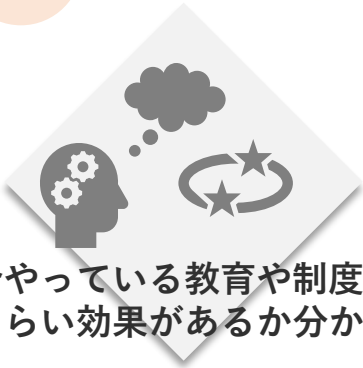


人的投資の検証評価

自社の人材育成を検証し
課題と対策を可視化

例

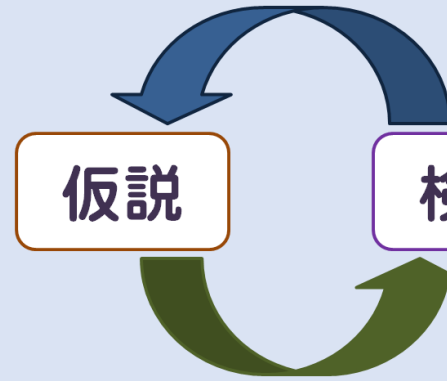
人的投資手法の仮説検証



今やっている教育や制度が
どのくらい効果があるか分からない

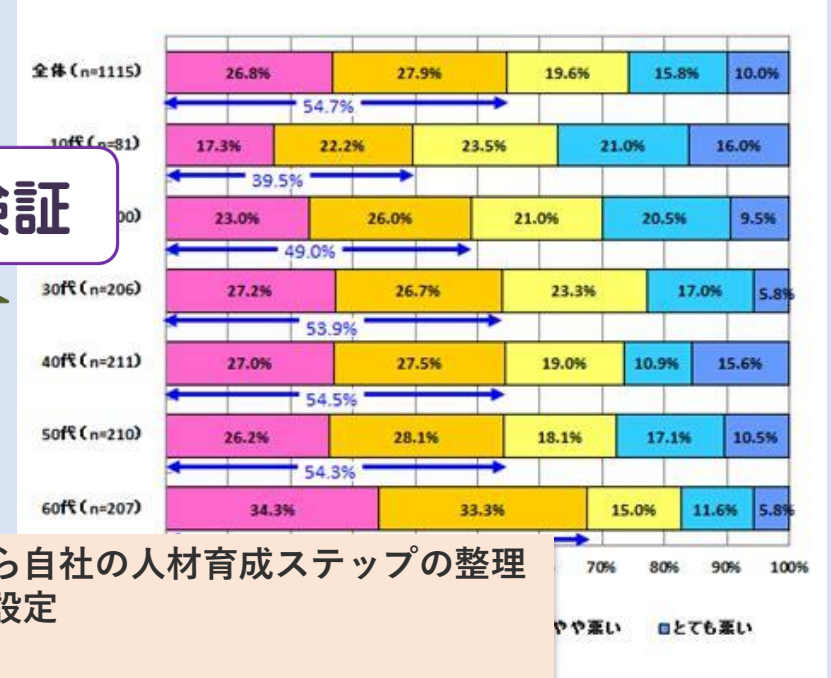


他者事例や検証指標の導入で
人的投資の効果を検証

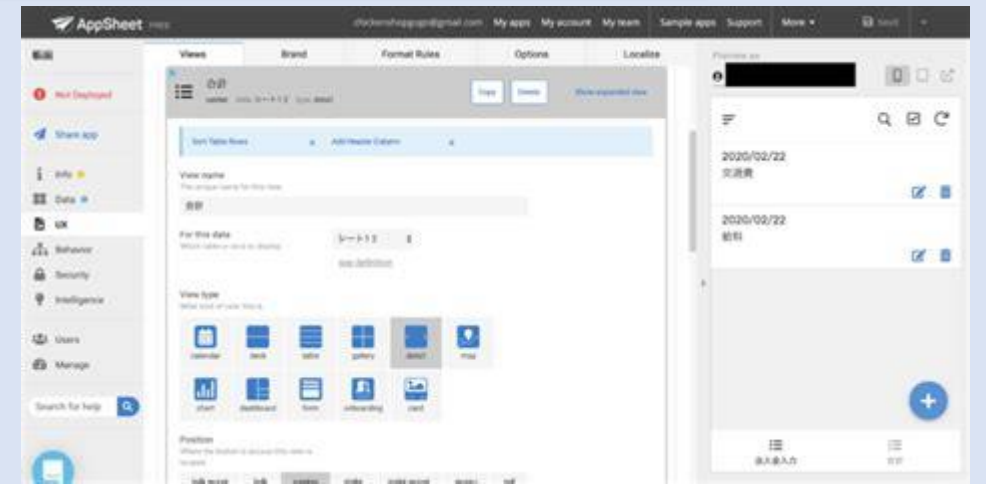


検証

仮説



- ①社外事例を参照しながら自社の人材育成ステップの整理
- ②各ステップの検証指標設定
- ③定期的な検証の実施



導入事例

A 農園さま

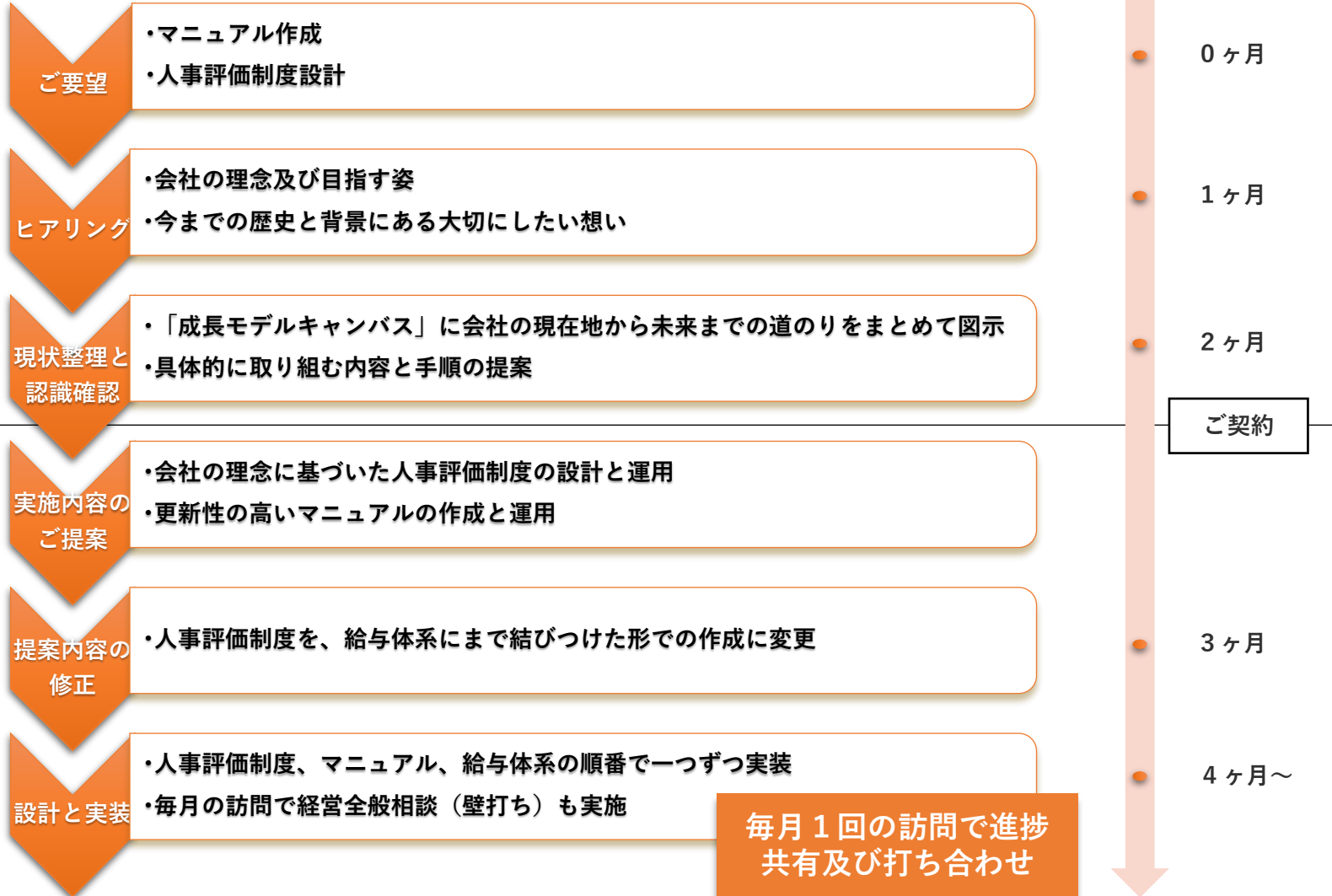
会社成長を実現するための人材管理の仕組みづくりと運用体制整備

- ハウス野菜、露地野菜
- 総雇用者数10～20人

規模拡大をさらに進めていく中で、人材マネジメントやスタッフの技術力向上の必要性を感じる。

制度の設計及び実装の業務を自社スタッフで行う余裕がなく、農業研究屋への業務委託を検討。

人材マネジメントの制度設計だけでなく、経営課題全体についての相談と壁打ちも行っている。



B 農園さま

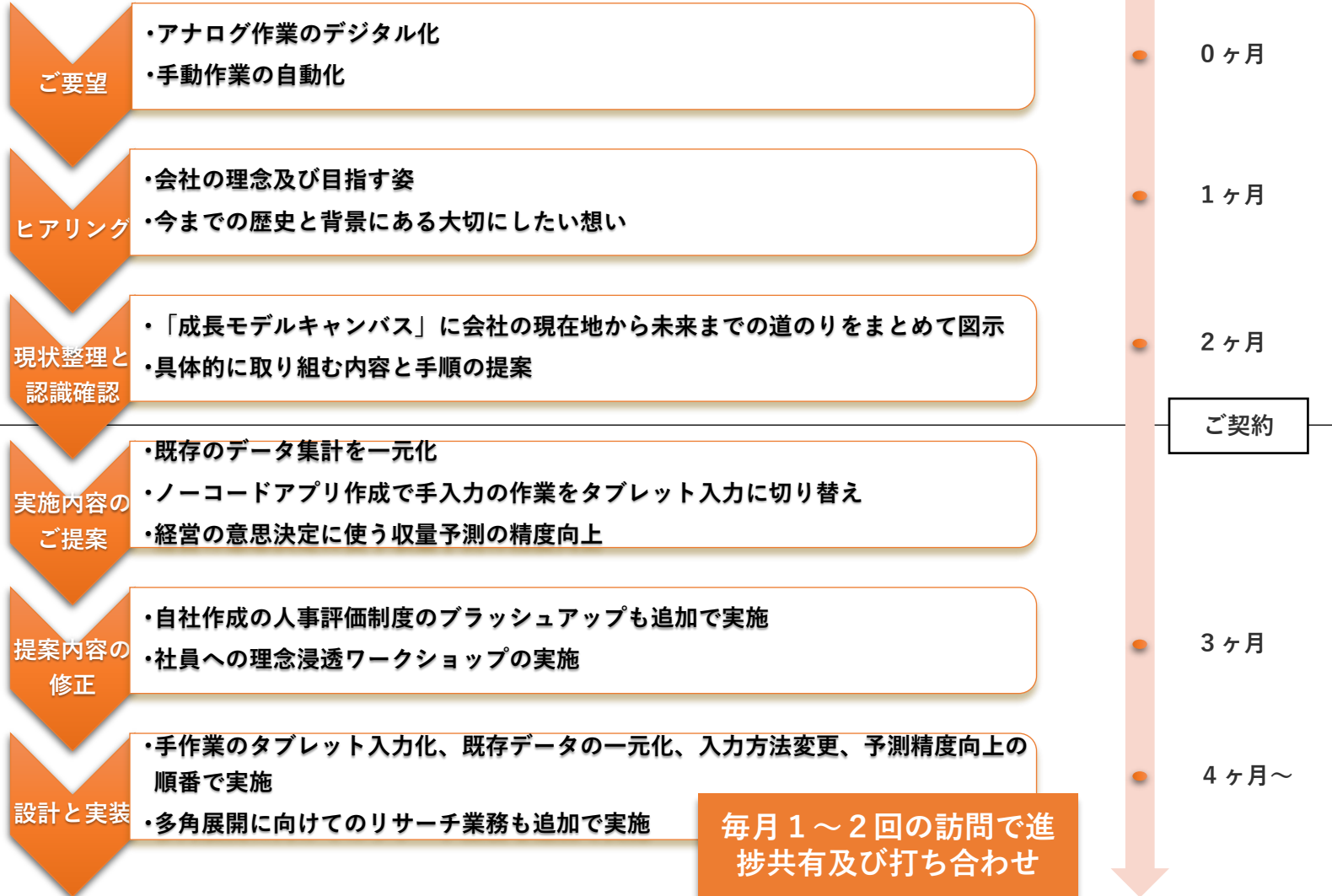
経営意思決定に使えるデータの活用体制構築及び運用

- 温室ハウス野菜
- 総雇用者数10～20人

既存の機械管理でデータは溜まっているものの、うまく活用することができていなかった。

今後更に規模拡大を進めていく中で、データに基づいた無駄なコストと無駄な作業を減らしていきたいと考えており、農研屋の導入を検討。

手動作業の自動化やアナログ作業のデジタル化により経営の意思決定に使えるデータしていく作業を進める。



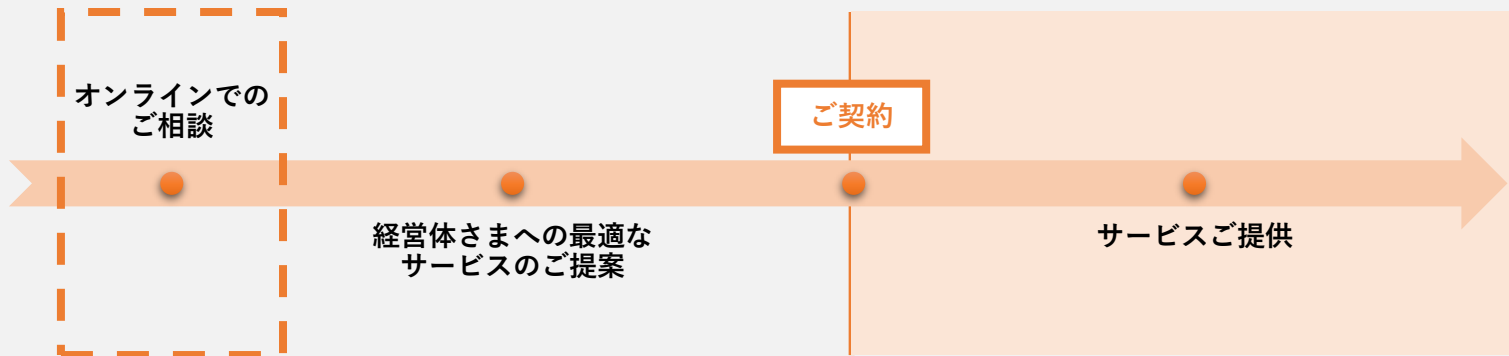
お問い合わせ

農業は他の産業に類を見ないほど、無償での支援サービスが充実しています。
そんなところで民間企業が有償のサービスを展開する価値はなにかと、私達は常に問い続けています。

農業研究屋は民間だからこそ、個別の農業経営体に入り込みその一員として伴走します。
農業研究屋は民間だからこそ、常に頂く金額以上の利益を生み出すサービスであることにこだわります。
農業研究屋は民間だからこそ、「支援」ではなく設計から整備運用の「実務」まで行います。

頭のどこかで分かってはいるけど対処できていないことが山積している。
そんな農業経営の忙しい毎日の中でかゆいところに手が届く存在へ。

ご興味を持っていただけたら、ぜひお気軽にご連絡ください。



お問い合わせ

担当：池田岳斗（共同代表）

MAIL：taketoikeda@labprojectllc.com

TEL：[080-2528-9361](tel:080-2528-9361)

参考資料

最大パフォーマンスを発揮できる「仕組み」をつくる

「仕組み」で組織力を上げる

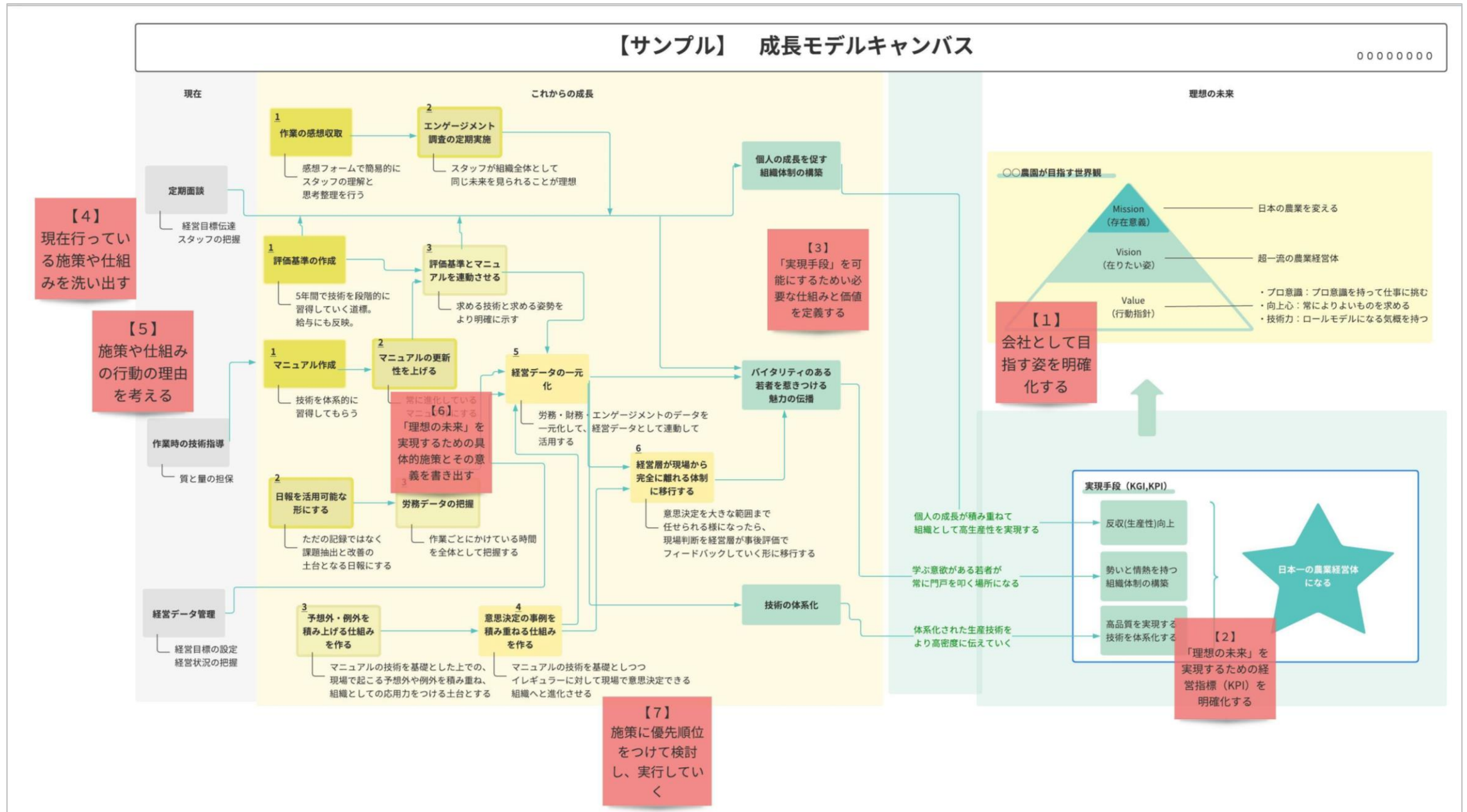


スタッフが最大パフォーマンスを発揮出来ないノイズ（障害物）を取り除く

スタッフを「成長」させたい！

宋人有閔其苗之不長而揠之者。
芒芒然歸。謂其人曰。
「今日病矣。予助苗長矣。」
其子趨而往視之。苗則槁矣。
天下之不助苗長者寡矣。

助長



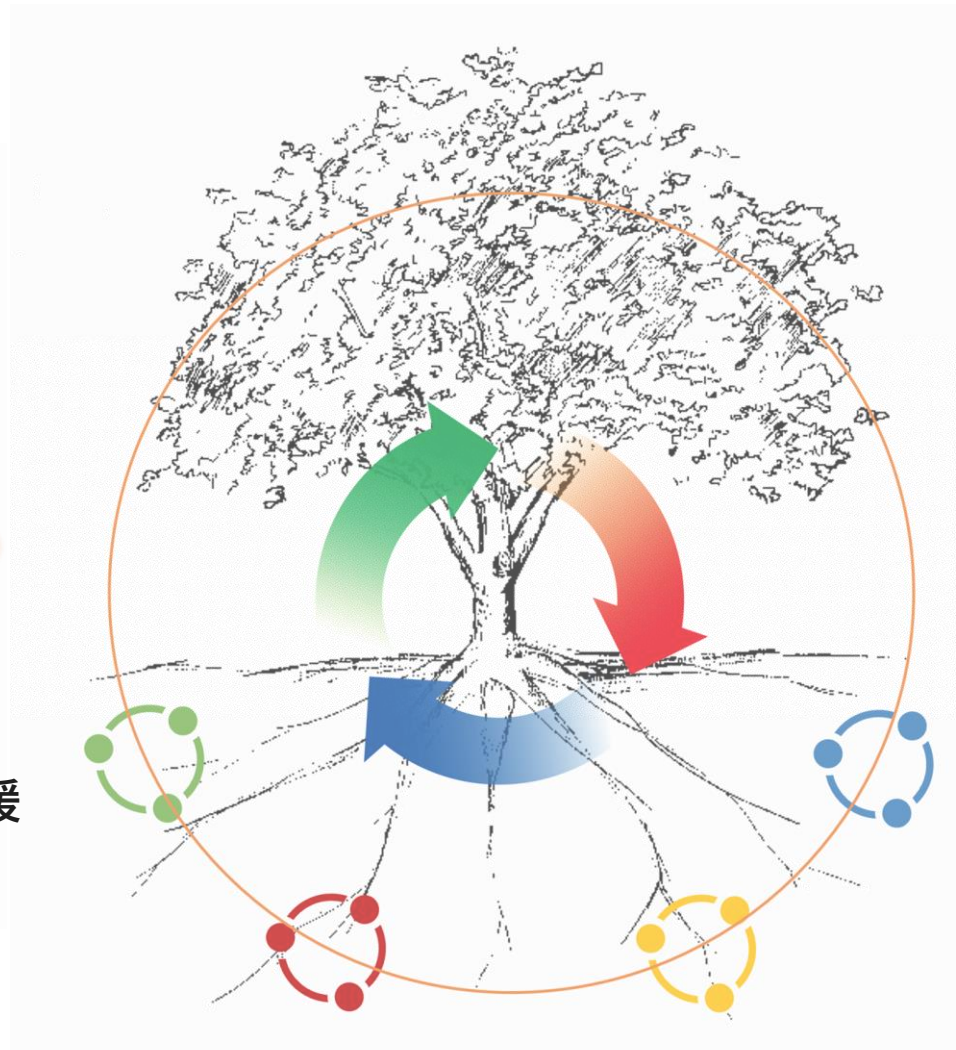
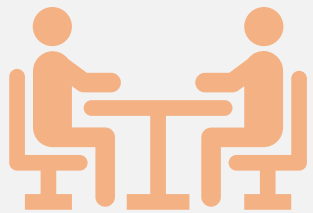
1

自立

経営の土台を固める

組織経営の仕組みづくりの支援

1対1



2

循環

農業を次世代に繋ぐ

農業経営課題を見える化する
包括的データベース構築

n対n



農業経営者が何に困っているのかを整理し見える化する

農業の魅力向上

なりたい職業ランキング

1. ○○○○○○
2. ××××
3. 農業経営者、農業従事者
4. ▼▼▼▼▼
5. ~~~~~



農業経営体の経営安定と発展



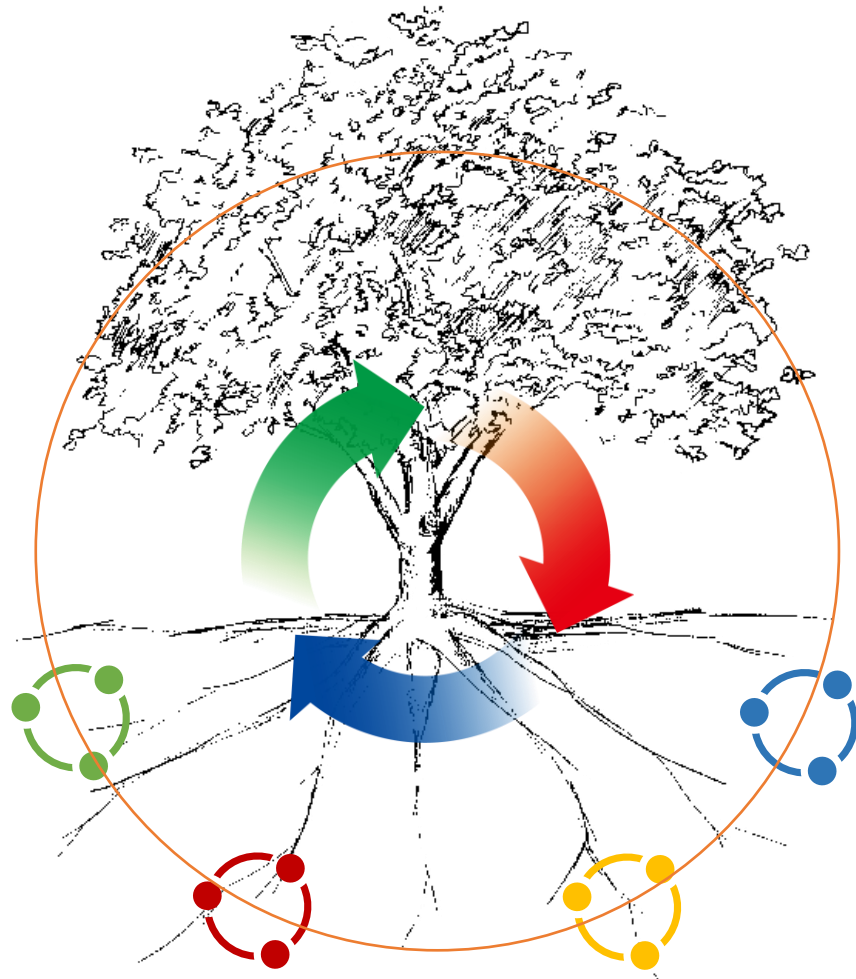
産業としての持続性



[1] 農水省「農業・農村の有する多面的機能」(https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/#01)

ラボプロジェクト合同会社

循環と自立の社会を目指して



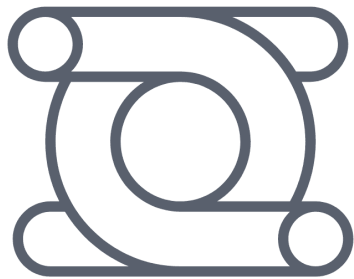
農業研究屋

組織づくりを基軸とした
農業経営支援サービス

新・社会科

「なぜ勉強するのか」を
追求するメディア

ラボプロジェクト合同会社



lab project

設 立 日 時	2 0 2 1 年 2 月 2 4 日
構 成 人 数	2 名
共 同 代 表	橋本 隆宏(はしもと たかひろ) 池田 岳斗(いけだ たけと)
本 社 所 在 地	栃木県宇都宮市
事 業 概 要	農業経営支援、教育コンテンツ作成
サイトURL	https://labprojectllc.com/



農業を持続的な産業へ